低 層 住 宅 部 会

発表①　**「現場台風対策ガイドライン」の制定　　―台風による物損・第三者災害の撲滅に向けて―**

旭化成ホームズ㈱　施工本部　施工管理部　安全・労災保険グループ長　小平　俊一

台風の事前対応および復旧に関する「現場台風対策ガイドライン」を制定しました。工事店ごとにバラバラだった対策を統一し、iPad等による現場確認も可能とし短時間で現場把握が可能となりました。「物損・第三者災害ゼロ」を目標に取り組みを進めております。

発表②　**無労災 1600 日継続への取り組み**

積水ハウス㈱　仙台支店　建築課　建築長　笹倉　可展

日々安全意識を高揚させ続けることは簡単ではない。「怪我は会議室で起きているのではない！」を合言葉に、元請、事業者はもとより現場で作業する職人さんに着目し、安全活動を実施しています。「ダメからいいねへ」を実践し、その集合体の成果として一年に一回優良事業所を表彰しています。

発表③　**住宅建築現場の仮設トイレの「快適化」推進　　―住宅会社とトイレメーカー　一体のプロジェクト―**

全国低層住宅労務安全協議会　快適トイレ推進プロジェクト　リーダー　加賀谷　敏信
（古河林業㈱）

今後予想される建設業の従事者不足への対策として、女性・外国人・高齢者を含む全ての人が快適に使用できる仮設トイレの採用を住宅建築の現場で推進するため、住宅会社と仮設トイレメーカーが垣根を越えてプロジェクトを立ち上げました。その成果を報告します。

発表④　**女性目線の住宅建築現場環境改善推進　　―じゅうたく小町の活動を通して―**

全国低層住宅労務安全協議会　じゅうたく小町部会　環境班リーダー　熊本　好美
（日野興業㈱）

全国低層住宅労務安全協議会・じゅうたく小町部会では現場環境改善の取り組みとして、１．女性目線の熱中症対策、２．女性目線の作業服インナー提案、３．現場管理者の休日確保のためのアンケート調査、４．現場への新型手洗器設置を行ってきた。過去一年間の活動とともに紹介する。

発表⑤　**セイフティファーストで、一人一人が考動する組織創り　―安全にこだわり続け、おかげさまで 45 周年―**

㈱ダイサン　安全部　部長　和田　誠一

アカデミー制を導入した教育体制の構築、更なる施工技術の向上を目指すビケ足場施工士能力向上試験の実施等の新たな制度と品質への拘りやプライドをかけた足場甲子園の開催、定期的に重点化した安全衛生活動等の新たな仕掛けで、セイフティファーストの考え方を一人一人に浸透させ、現場作業で実現させる。

発表⑥　**墜落・転落災害防止に向けた安全設備強化の取り組みについて**
―オリジナル安全資材の開発による墜落・転落災害ゼロへの挑戦―

大東建託㈱　安全品質管理部　次長　関本　泰義
課長　柘植　一鑑

現場における危険箇所は工程ごとに常に変化していき、それに対応した安全対策が必要となります。当社では安全対策を別で考えるのではなく、現場作業員が行う作業工程の中に組み込み、またそれを補うための安全資材を開発し展開しています。

発表⑦　**低層住宅現場における職種別ストレスチェックの取り組みについて**

―集合教育を通じてのストレスチェック展開―

大和ハウス工業南関東地区協力会　安全環境部会会長　井関　秀晃
（㈲亀井工務店）

集合教育時に各事業所のストレスチェックを実施し、前年度との比較をするとともに職種を大きく、３職種に分類し、どの職種（工程）の健康リスクが高いのか把握することでより有効な職場環境改善を実施した。

発表⑧　**建方工事中における床面から階段室部への墜落・転落災害防止を図る**

―建方工事中の墜落・転落災害撲滅に向けて―

㈱ノダキシーアンドシー　工事課　課長　倉地　善三

建方工事中の階段室部への墜転落災害防止策を、現状の作業状況と作業手順から問題点を洗い出し、仮設手すりを外すことなく外壁パネル建込完了まで進められるよう、対策の立案と検証を行った。

発表⑨　**ドローンを活用した屋根上点検の実例と展開**　**―従来の梯子使用点検からの危険作業低減―**

峯岸工業㈱　代表取締役　峯岸　政夫

従来、経年劣化や天災等に伴う屋根上点検は、初期段階から熟練の職人が梯子等で屋根上に上がり点検を実施するため危険作業を伴うものであった。そこでドローンを活用した点検により危険作業を低減。ドローン操作もアプリ活用で簡易。経験の浅い方や女性活躍にも繋がる点検方法である。

発表⑩　**ありのままに向き合う「真のパトロール」を目指して**　**―木建工事の安全パトロール 20 年のあゆみ―**

山梨県木造家屋等建築工事安全対策協議会　ブルーキャップス第 10 期隊　隊長　井上　舜

「守ろう尊い人命を、あたえよう幸せな家庭を」のスローガンのもと、ブルーキャップスは、パトロール活動を通じ、安全思想が安全行動に結びつく＝「真のパトロール」を目指し、山梨県内の木建工事現場の労働災害防止活動を積極的に行っています。

講　話　**東日本大震災復旧・復興工事における労働災害防止対策について**

厚生労働省　宮城労働局　労働基準部長　石田　直哉

東日本大震後に復旧・復興工事における労働災害防止対策として、働く人々が安心して働くことができるための取組について紹介する。また、近年多発する豪雨等自然災害による復旧・復興工事等における労働災害防止活動についても併せて紹介する。
